

## グディーニャ 2020 世界ハーフマラソン選手権大会代表選手選考要項

### 1. 編成方針

2020年東京オリンピックのマラソン強化の一環として、マラソンに必要なスピードの養成、或いはトラックで実績がある選手のマラソンへの移行準備を目的とした選手団編成とする。

### 2. 選考競技会

#### (1) 男子

- 1) 第74回香川丸亀国際ハーフマラソン大会 <2020年 2月2日(日):丸亀>
- 2) 第48回全日本実業団ハーフマラソン大会 <2020年 2月9日(日):山口>

#### (2) 女子

- 1) 第38回山陽女子ロードレース大会 <2019年12月15日(日):岡山>
- 2) 第48回全日本実業団ハーフマラソン大会 <2020年 2月9日(日):山口>

### 3. 選考基準

男女ともに、編成方針に則り、下記の優先順位で選考する。

- 1) 東京2020オリンピック競技大会マラソン代表内定競技者
- 2) 各選考競技会において出場意思のある最上位の競技者(男女各2名ずつ選考)
- 3) 選考基準1), 2)で5名に満たない場合は、2020年2月9日に行われる全日本実業団ハーフマラソン大会のリザルトが、国際陸上競技連盟(以下、「IAAF」という)のワールドランキングに反映された時点での出場意思のあるランキング上位の競技者から選考する。但し、イベントグループ「Road Running」でハーフマラソンが含まれている事。

### 4. 種目及びエントリー枠

- (1) 種目: 男子ハーフマラソン、女子ハーフマラソン
- (2) エントリー: 各種目最大5名(団体戦は上位3名の得点)

### 5. 選考方法

編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、専務理事の承認を経て決定する。

### 6. その他

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
  - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
  - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
  - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (4) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。
- (5) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (6) 本大会は、2020年3月29日(日)にグディーニャ(ポーランド)で開催される。

以上